

JICAの青年海外協力隊として、セネガルで子供たちの教育にあたっている今先生から、セネガルの言葉や文化、学校教育などのお話を伺いました。日本から世界に目を向けて、自分たちでできることを考える機会にしてほしいものです。

<朝会で話した主な内容> テーマ：「日本と外国に興味を広げて」

今日は、アフリカのセネガルという国に行き、現地の小学生に勉強を教えている今先生が一時帰国して、九小に来られます。廊下にはあってある今先生のセネガル通信や写真を見た人もいるでしょう。3年生から6年生までの皆さんは、1時間授業をしていただくので楽しみです。

今先生は、JICAの青年海外協力隊のボランティアとして、2年間セネガルのカフリン県カフリン市で生活しながら子供たちの教育に関わっています。東京オリンピック招致のプレゼンテーションで、日本の「お・も・て・な・し」が話題になりましたが、セネガルの人たちも自分の国を「テランガ（「おもてなし」）の国」と呼び、誇りに思っているそうです。また、日本は安全な国で平和を愛し、世界中から多くの旅行者が訪れますが、セネガルの人達も平和を大切に、挨拶の時には「ジャム（「平和」）」を表す言葉が入るそうです。遠く離れた西アフリカの国で、日本と似ているところがあるなんて興味深いことですね。

世界にはたくさんの国があります。ベトナムでは、授業中紙のノートも使いますが、小さい黒板を使ってチョークで書いたり消したりもするそうです。新学期が、秋に始まり、教科書は学校から借りて使うため、学年が終わると学校に返す国もあるそうです。外務省のホームページを見ると、世界の学校を見てみようという項目があって、いろいろな国の様子がよくわかりますよ。自分の知識や技術・経験を生かして、外国で活躍する人も大勢います。皆さんも、今先生の話きっかけに、日本と外国についていろいろと調べてみるといいですね。

<感想>

- 1 セネガルは、平和を挨拶の言葉に使っていたり、ノート代わりに小さな黒板を使う国があったり、いろいろな国の学校のことを知ることができてよかったです。家に帰ったら、他国の学校のことを調べようと思いました。
- 2 今先生がセネガルのことについて話してくれるということで、一番楽しかったこと、大変だったことなどしっかり覚えたい。ボランティアなどに積極的に取り組むことはすごいと思う。
- 3 今先生がセネガルに行って、セネガルの人を元気にしてる姿を見て、世界のみんなで世界を平和にしたい。
- 4 日本の学校と違うところとか、似ているところとか国の文化について分かりました。教科書を返すところなど、とてもエコだなと思いました。一人一人、小さい黒板で書いているというのは驚きました。
- 5 世の中は、私達のように学校があっという間いろいろなことができるところばかりではないから、孤独な人もいるし、悲しい人もいるから、私は人を助けてあげられる人になりたい。だから、英語を勉強して頑張りたいと思います。
- 6 セネガルから、一時帰国してくる先生に授業をしてもらうことになり、とても楽しみだと思いました。他国のお話を聞けるのは、とても嬉しいです。環境の違う国でどんな生活をしているのか、どんな伝統があるのか、いろいろな話を聞けることが楽しみです。
- 7 外務省のホームページで中国の学校について調べました。授業では、日本語を習ったり、日本の文化についていろいろ書いてありました。このことから、日本と中国は、これからも協力していけるといいなと感じました。
- 8 「おもてなし」という言葉は、日本しか使わないと思っていたけど、セネガルもおもてなしを大事にしていると知ったので、5時間目の総合の時にいろいろと知りたいです。
- 9 世界には、いろいろな学校があります。例えば、ベトナムの学校ではノートの代わりに小さい黒板を使って書いていたと聞いて、外国と日本の学校の違いがあると知りました。なので、他の外国の学校のこともいっぱい知りたいです。
- 10 セネガルでボランティアをしている今先生のように、自分も進んで誰かのために働きたいと思いました。
- 11 ある国では紙のノートではなく、小さい黒板に書いたり消したり、違う国では、借りた教科書を小学校に返すそうです。セネガルは、ジェム（平和）という意味の言葉で挨拶をするそうです。校長先生もおっしゃっていたように、日本と同じような国があることに驚きました。これから、教科書などを使っていろいろな国の学校を知りたい。
- 12 今先生が行っているセネガルでもおもてなしを心がけているので、私もおもてなしを心がけていきます。